

日本理学療法イニシアティブ研究会

設立趣意書

理学療法士が国家資格として誕生して 50 年、我々理学療法士はリハビリテーションの一翼を担う専門職としてこれまで国民の負託に応えてきた。さらに、多様な障害像や革新的に進歩する医療に対して適切に対応するため、公益社団法人日本理学療法士協会は領域別に 12 の分科会を設置するなど、理学療法士の専門性をさらに発展させる方向性を示している。

しかし、理学療法士個人が一領域のみの専門性を高めることに専念し、他の領域への関心が低下するとすれば、多様なバックグラウンドを持つ理学療法対象者の問題を解決することが困難となるだけでなく、他領域とのシステム構築や協調によって生まれるはずの相乗効果さえも失われることが懸念される。

我々は、高い技能が必要となる運動器、スポーツ、神経領域などと、それらと関連する教育システムを対象領域と捉え、高い意識を持って日々臨床に取り組んでいる理学療法士に領域を超えた最新トピックスを提供し、各々が所属するフィールドでイニシアティブが発揮できるように支援することが今後の日本の理学療法士の発展に必要なかつ有益であると確信している。

よって、上記の行動母体となる研究会として日本理学療法イニシアティブ研究会をここに設立するものである。

代表発起人	埼玉医科大学 教授	赤坂 清和
発起人	日本女子体育大学	板倉 尚子
	東京工科大学 教授	小松 泰喜
	埼玉医療福祉専門学校	永井 秀幸
	北里大学メディカルセンター	渡辺 学
	埼玉医科大学 准教授	乙戸 崇寛
事務局	埼玉医科大学 講師	澤田 豊
	埼玉医科大学 助教	大久保 雄